あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK NO.47

編集＝山形村図書館

図書館からのお知らせ

YCSでみられます。図書館の今！

＊わらべうたの会「せっせっせ」
テレビで見ながらたのしんでね。

「ちっちゃいまめころころ」「ハナちゃんリンゴがたべたいの」など、子どもたちと楽しめるわらべうたや遊び歌を、ＹＣＳの番組で紹介します。見ながら一緒にあそんでみましょう。

＊「新しく図書館に入った本」のリストができました。

「本のリストを見ながら予約したい」という声にお応えして、1ヶ月分の新着資料リストを放送してもらいます。

「これ読みたい！」という本があったら、図書館に電話してくださいね。

山形村図書館　☎98-3155

図書館の本は貸出ししています。

何冊でも、３週間借りられます。たくさん借りてくださいね。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ですが5月31日(日)まで図書館に入っていただくことができません。

しかし、インターネットや電話で予約いただいた本を、図書館入り口で受け取って借りることができます。

4月9日以降、図書館に本を返しに来られた方は、「えー！本を選べないの？」と大ショック。

「お借りになりたい本があったら持ってきますよ」と声をかけると、「このシリーズの続き」「東野圭吾の本を何冊か」「動物の絵本」などと希望を言って借りていかれます。子どもさんの本も好みを聞いてお選びしています。でも「やっぱり見なくちゃ選べない」という声もあります。予約した本を借りる手軽さの一方で、本棚をぶらぶら眺めながら「こんな本あったんだ」と思いがけない本に出会うのも図書館のお楽しみです。

そんなお楽しみもしばらくはお預けですが、この機会にインターネットで予約される方がぐっと増えました。図書館の蔵書検索はなかなか楽しくて、本の表紙や内容も見ながら選ぶことができます。おすすめは「新着資料から探す」で、最近2ヶ月以内に図書館に入った本を見ることができます。パスワードとメールアドレスを登録すれば、おうちにいながら予約ができます。「本の用意ができました」というメールが来たら、開館時間内の好きな時に、図書館に受け取りに来てください。

山形村ホームページ⇓山形村図書館（村のホームページの下の方にあります）⇓蔵書検索

の手順でチャレンジしてみてください。わからないときは、図書館にお電話くださいね。

☎98－3155

または、左記のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると蔵書検索にすぐアクセスできます。

図書は入口で貸出を行っています

今月の注目本

『ペスト』　カミュ（新潮社）

ノーベル賞作家カミュによる、伝染病ペストと戦う市民たちを描いた小説です。1969年に出版されたこの本は、新型コロナウイルスの流行に伴い話題を集め、図書館でも予約がたくさん入っています。

おすすめ新着本紹介

『新型コロナウイルス　正しく怖がるにはどうすればいいのか』　木村　良一（扶桑社）

世界中で感染が拡大している「新型コロナウイルス」。感染予防・治療につながる正しい情報をわかりやすくまとめます。専門家会議メンバー12人の内のひとりである岡部信彦氏監修。

『君はるか』　古閑　正裕（集英社インターナショナル）

東京五輪の「オリンピック・マーチ」を作曲した、昭和日本を代表する国民的作曲家・古閑裕而。そしてその妻・金子。両親が残した往復書簡を元に、長男が綴った美しい愛の物語です。NHKの朝の連続ドラマとともにお楽しみください。

『みんなの園芸店』　大野　八生（福音館書店）

ガーデニングに最適な季節です。夜に咲く花を楽しんだり、鉢植えで果樹を育ててみたり。ガーデナーでもあり、イラストレーターでもある著者が、庭づくりの楽しみをつづります。

『やっぱり　しごとば』　鈴木　のりたけ（ブロンズ新社）

「しごとばシリーズ」6冊目です。プロサッカー選手、恐竜学者、プログラマー、医師など、子どもに人気の職業の仕事場をイラストで細かく再現しています。くすっと笑っちゃうイラストも隠れていますよ。

『くさい！』　クライヴ・ギフォード（河出書房新社）

びっくりするほどくさいにおいから、とんでもなくいい香りまで、世界はいろんなにおいにあふれています。昔のお医者さんは、体のにおいで病気をみつけていた？宇宙にもにおいがある！においにまつわるビックリおもしろ話がいっぱいです。